

会 議 録

平成 28 年 6 月 23 日 調製

審議会等名	平成 28 年度 第 1 回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 28 年 6 月 7 日 (火) 午後 2 時～4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	有
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>五十嵐章雄委員長 倉品章副委員長 山田喜浩委員 佐藤久恵委員 小川千春委員 本井晴信委員 宮島泉委員 山田彫子委員 六原佳子委員</p> <p>【説明のための職員】</p> <p>金子生涯学習課長 阿部生涯学習課長補佐 佐藤文化振興係長 伊藤主任</p> <p>【指定管理者】</p> <p>北浦館長 菊崎業務責任者 竹内副責任者</p>
協議題	<p>(1) 平成 27 年度の図書館利用状況について</p> <p>(2) 平成 28 年度の運営計画について</p> <p>(3) 平成 28 年度 4 月以降の利用状況について</p> <p>(4) 第 2 次三条市子供読書活動推進計画進捗状況について</p> <p>(5) その他</p>
生涯学習課長	(あいさつ)
五十嵐委員長	協議題(1)「平成 27 年度の図書館利用状況」についての説明を求めたい。
図書館長	(資料 No. 1、No. 2 により説明)
五十嵐委員長	今の説明について、質問・意見等があれば、お願いしたい。栄分館のしかけ絵本が大変好評な様子が表から読み取れる。
本井委員	栄分館の利用数が伸びているのは嬉しいが、貸出しはしかけ絵本が中心か。
図書館長	栄分館ではしかけ絵本 1,600 冊を中心に絵本や子供向けの本が多く借りられている。蔵書としては子供向けが多いイメージだが、母親向けを始めとした一般向けの本も用意している。
本井委員	多くの子供たちに絵本を見てほしい気持ちは分かるが、しかけ絵本は壊れやすい。そのリスクをどう考えるか。壊れたから簡単に買い換えるというものではないのではないか。
図書館長	めざせ！しかけ絵本日本一プロジェクト実行委員会が定期的に修理している。図書館スタッフでも対応し、修理ボランティアにもお願いすることで、できる限り直していきたいと考えている。

六原委員	栄分館にはしかけ絵本という特色があるが、下田分館は民話の里といった特色で、栄分館にはないが下田分館に行くと面白い本があるというふうにはならないか。
図書館長	下田分館についてはこれから検討していきたい。今年度「図書館できもだめし」を行う。今後とも、下田分館らしい事業を実施したい。
山田（彫）委員	下田分館から栄分館までは遠くて、なかなか行けない。下田分館の貸出冊数が落ちているのは、子供が減っていることも理由の1つにあると思うが、栄分館のしかけ絵本を下田分館でも見れるということになれば、子供たちが学校帰りに行けるのではないか。
図書館長	栄分館がしかけ絵本というように、下田分館でも特徴をつけていきたいと考えている。先ほど昔話、民話という意見があったが、農業に特化するなど下田分館ならではの特徴を盛り込んでいきたいと考えている。広く意見を伺いたい。
宮島委員	子供にとって家から離れている図書館に行くのは大変なので、下田分館にも、しかけ絵本コーナーを作り、月1回程度入れ替えるなど、対応をお願いしたい。
五十嵐委員長	自動車文庫にしかけ絵本は積んでいるか。
図書館長	自動車文庫にしかけ絵本は積んでいない。
金子課長	今、栄分館でしかけ絵本を集めており、これで十分かといえ、まだまだ足りないので、更に充実させたい。下田分館でもしかけ絵本を見れるようにという意見について、今後の検討とし、絵本に触れる機会を増やしていきたい。
宮島委員	6ページのブックスタート事業についてだが、対象者数が664人、健康相談会場で実施が657人ということは対象者のうち未実施が7人だが、図書館内での実施は9人となっている。よく分からないが、どちらにしても100%実施したということか。
竹内副責任者	ブックスタート対象者は、あくまでも予定数で、対象者と実際の人数が違ってくる。配布していない方がいるか、100%かどうかは、この数字では確認できない。
菊埼業務責任者	ブックスタート対象者に絵本を配布しているが、何らかの理由で当日健康相談会を欠席した方を対象に、図書館でブックスタートの絵本を配布している。図書館に来られない方や、何か月も経過してから来る等、当該年度の方が100%とは限らないと考えられる。
五十嵐委員長	調べ学習は、パソコンでの検索に移行していると思われるが、学校の現状はどうか。
佐藤委員	スクールパックや団体貸出については、学習のまとまりで借りられるので、スクールパックを利用して調べ学習に対応していきたいと考えているが、高学年になると、パソコンを使っての調べ学習も入ってくる。
五十嵐委員長	以前、川島隆太先生の講演を聞いたが、それによるとパソコンで調

	<p>べる時に、画像が多く出てくるような画面では、頭に血流が全然行かない。これは、頭が働いていない状況である。逆に、活字を読んでいる時には、脳に血流が多く流れている。</p> <p>極端なのはゲームらしいが、ゲームをやっている時は、頭が全然働いていない状態である。パソコンだけでなく活字を使って、調べ学習をしていってほしい。</p>
本井委員	<p>自動車文庫の運行や出前サービスについて、事故はないのか、気になっている。1回でも事故があると、後々いろいろところで影響が出てくる。事故がないのは幸いだと思うが、明日は分からない。</p> <p>事業をただ広げればいい、浸透すればいいということではないし、しぼめればいいということでもない。懸念が逆に増えてくるような気がしてならない。とにかく安全に注意してほしい。</p>
図書館長	<p>今まで事故はなかったとはいえ、本当に気を付けていきたい。現在、自動車文庫の運転はシルバー人材センター2名にお願いしている。</p>
五十嵐委員長	<p>事故が起きた時に、対策はあるか。</p>
図書館長	<p>報告を迅速にするよう指導し、警察への通報も含め連絡が取れる体制を取っている。</p>
倉品副委員長	<p>4ページからの特設読書会等行事だが、知恵を出し、わくわくするような事業が行われているが、参加者の数を見ると、本当に0から100まで、様々である。数字はインパクトがあり、良し悪しが一目瞭然となるが、事業の中身を検討し、参加が少なくても、これはいい事業だから継続すると信念を持って、継続してほしい。</p> <p>5ページの一番上にある大人向け読書会だが、4回行われて33人の参加は決して多い数字ではない。自分が参加した時は6人だったが、非常に良かった。こういった事業の見極めも、お願いしたい。</p>
本井委員	<p>特設読書会等で、古本リサイクルというのは、どこの図書館でも1回で全部思い通りに無くなるわけではない。やはり残部が出て、毎年どんどん溜まる。私は、そのまま処分してもいいと思うが、我々の判断で、処分するのはとても残念だ。何とかして市場に出してはと思う。特定の古本屋や業者が問題ということであれば、古書籍商組合を呼んで、引き取っていただくということは可能か。</p>
図書館長	<p>幸い、図書館入口にリサイクルコーナー「もって～ね～コーナー」があり、そこに置くと、ほぼ100%持ち帰りいただいている。いろいろなチラシも設置しているが、特にリサイクル本は無くなっている。現状では、古本業者にお願いすることがないので、今後も古本リサイクルを行いたいと考えている。</p>
小川委員	<p>「図書館を使った調べる学習コンクール」では、楽しさが分からないと思う。もっと楽しさが伝わると、参加しようという気にならないか。</p>

宮島委員	ネーミングを何とかできないか。調べる学習では、子供が参加したいとは思えない。その辺りに魅力がないと言ったらそれまでだが、調べる学習では、余りにも硬過ぎる。例えば、夏休みの自由研究のために何かアドバイスができるというのであれば、その切り口で考えられないか。今まで考えていなかった子供を引っ張れるくらいの工夫があれば、参加も増えていくのではないかと思う。
図書館長	調べる学習については、全国的に見ると、毎回、最高賞を受賞しているような地域もあり、そういう意味では定着した名前だと思う。それを変えるよりは、今の意見のように、何を調べる学習なのか、分かりやすく説明させていただきたい。夏休みに実施ということだが、4月から検討しているが、今年の夏休みには間に合わないかもしれない。来年に向けて、学校関係者への説明を実施したい。調べる学習コンクールの作品には素晴らしいものがあるので、ぜひ見ていただきたい。
	(平成27年度の図書館利用状況について、了承)
五十嵐委員長	協議題(2)「平成28年度の運営計画」についての説明を求めたい。
図書館長	(資料No. 3について説明)
本井委員	計画の中で、展示ホールの受付状況が書かれているが、予約が入らない所は予約が入るまで待ち、入らなければ、空いたままか。申込みがなければ、どうするのか、何か対策があるか。
図書館長	空きがあれば、ホームページ等で募集をさせていただいて、追加の申込みを受けている。100%埋まっている現実でないことも理解している。広報不足か、こういう場所があることをもっと周知したい。反省点として、絵画展で、展示ケースの下の部分が汚れていた。せっかくのきれいな作品を飾るのに、汚れていると指摘をいただいた。これからはしっかり管理・運営させていただきたい。
本井委員	展示ホールは発表の場でもあり、そういう優先的な理由は十分理解できるが、空いたままになっているのは大変もったいない。図書館には良寛の複製軸がある。本以外の情報を、空いた時期に紹介してはどうか。所蔵品で公開しているといっても、普通の本と同じように閲覧できるものではない。図書館から公開の場を作って見ていただきたい。
六原委員	この展示ホールで、可能であれば、公民館と連携して、市民サークルのつながりや発表の場とする等、是非いろいろな形で連携してほしい。
生涯学習課長	公民館との連携も検討していきたい。せっかくの展示ホールで、市民から活用していただいている場所である。空いているのはもったいない。
山田(彫)委員	23日が「さんじょう親子読書の日」と知っている人が少ないのではないか。毎月23日が親子読書の日で、何を目標しているのか、どういう姿にしたいのかということが、お手伝いをしている私たちにも、見

	<p>えてこない。23日が土・日・祝日などお休みの日に当たると、絵本の読み聞かせをしているが、そこにいる子供に声をかけたりと、それだけのことでしかない。図書館は、本当にやる気があるのか。やってもやらなくてもいいのなら、別にやらなくてもいいかと思う。明快なビジョンとそれに対しての方策が見えてこないのが、さんじょう親子読書の日ではないか。きついことを言ったが、何か取り組むのなら、もっと周知徹底するような取り組みはないのか。</p>
図書館長	<p>課題ばかりである。さんじょう親子読書の日は大きな課題の1つである。スタッフ全員がエプロンを着けて、のぼりも立てているが、正直手応えが感じられない。今後は、イベントや周知を集中的に行うことで、人を呼べる日にしたいと考えている。</p>
倉品委員	<p>毎月23日というのは、難しいと思う。各月で曜日が変わる。もし親子読書というなら、第1日曜日等、曜日を決めてはどうか。保護者が休みの時がいいのではないか。具体的に、さっき言われたように方策を立て、集まりやすい日というの、1つの大きなテーマとしてほしい。</p>
宮島委員	<p>そもそも親子読書の日は、月1回図書館に来る日ではなく、子供読書活動推進計画の中で、本で生きる力を育てようという取組の1つだったと思う。今はテレビだけじゃなく、消さなくてはいけないものが多くあるが、取りあえずテレビを消して、親子で本を楽しみましょうという意味で、月に1度はという最低限のラインだったと思う。</p> <p>それこそどうして23日で、何を目指しているのかと、目的があいまいになって、23日という日だけ何とか押さえればいい、何かやっていたらいいということになっているのが問題である。まずは、何のためにするのか、その根本のところを主導で考えていただきたい。そのためにできることであれば、私たちも協力したい。</p>
山田（彫）委員	<p>図書館だけで旗を振っても見てもらえない。学校や保育所で取り組んでもらえればと思う。例えば、23日の宿題を読書にする。親子で読書をして、読書カードを提出する等、効果がある気がする。</p>
山田（喜）委員	<p>今の話題に関連して、学校を考えると、図書館を使ってほしいのであれば、毎月1回校長会をしており、その校長会には教育総務課長や小中一貫教育推進課長、教育部長も出席しているので、その際に、時々他課の課長や職員が、様々な事業について宣伝をしに来ているようにした方が絶対いいと思う。</p> <p>また、広報で学校便りや学年便りに載せてほしいと図書館から小さな案内が送られてくるが、6月号の便りは5月末に発行する。5月号のお知らせが図書館から学校に届くのが5月中旬である。だから学校便りに載せられない。私もいろんな学校の便りを見るが、載っているのはほとんどない。例えば、そういったことも、校長会の時に説明していただくと、浸透するのではないか。</p>

図書館長	今月から早目に周知するよう、徹底していききたい。引き続き、よろしくお願ひしたい。ぜひ校長会にも呼んでいただきたい。
五十嵐委員長	以前、学校便りに載せてはどうかと提案した。最初の頃はちゃんと届いていたような気がする。だんだん、遅れてきたのではないか。今後、対応を検討していただきたい。
六原委員	図書館のスタッフだが、慣れた方が辞めたり、他市に異動したりしている。異動等、止められないのか。
図書館長	分館を2名体制にしたり、離職率を上げない工夫をしている。
六原委員	そういう意味では、お昼交代が可能になったこと等で、辞めたいと思う気持ちが減るかとは思ふ。 また、図書館にお願ひしたいと常々思っていたが、トイレを利用する方々から、便座スプレーを置いてほしいという意見をいただいているが、いかがか。
図書館長	除菌クリーナーを置かせていただいている。
六原委員	便座の除菌である。たくさんの方が利用するので、図書館にあると、ありがたい。 今後の図書館だが、複合施設と一緒にしても良いのだが、新しくなるともっと利用すると思う。やはり他市に行くと、図書館はいいと思うが、今のところは新しくなる計画も無いようなので、何か古くて歴史があるという路線でやっていくしかないと考えている。
図書館長	年度の運営計画にかかわるような意見があれば、お聴きしたい。
山田(彫)委員	書棚の話だが、絵本棚で絵本がきつくて入らない。さんじょう親子読書の日に、返本の手伝いをしたが、書棚に入らない。一番上の棚は空いているが、子供向けだから一番上の棚に絵本を入れる訳にはいかないと思うが、書庫に入れたら、手に取ってもらえなくなると思う。どうすれば良いかと思うが、もう少し書架に余裕があればと思う。
六原委員	栄分館にある木の列車のような書架があれば、いいのではないか。
宮島委員	もう新しくするしかないのではないか。
山田(彫)委員	日本の絵本の書棚は、まだいい方で、外国絵本の書棚は、本当に一部の隙もない。
宮島委員	借りようと思っても、出せない。
図書館長	児童室は今年度、カーペットの張り替えを予定している。それに伴い、もう少し雰囲気の良い図書館にしたいと考えている。
本井委員	多くの市民に蔵書を提供したいという気持ちの表れだと思うが、とにかく無理に詰め込み過ぎている。そうそう書庫に余裕があるわけではないし、詰めれば詰めるほど本自体にもストレスがかかってくる。本を読みたい人が無理に出そうとしたり、無理に詰め込もうとすると、本や資料が痛む、その繰り返しで、悪循環になっている。 それともう1つ、何を保存すべき資料として考えるのか。その辺の線引きを常に、意識してほしい。計画の中にある未整理地域資料の整

	理という、この簡単に書かれていることが、全体に係る大きな問題と考えられる。
図書館長	未整理地域資料に関しては、古文書に知識のある方をお願いして進めている。今の話とは別のことも含め、資料の保存、管理ということについても利用者の方からいろいろと指摘を頂いている。図書館の本質的なことと受け止めている。
五十嵐委員長	協議題(3)「平成28年度4月以降の利用状況」についての説明を求めたい。
図書館長	(資料No. 4、No. 5により説明)
宮島委員	5～6ページにある読書会活動についてだが、三条市の図書館は読書会が活発で、ざっと数えても24ある。この読書会に関する支援とあるが、あくまでも読書会の一覧であり、支援ということについては分かりにくい。例えば、複写サービスや部屋の借用等、様々な活動のために支援していただいているので、この支援について書いた方がいいのではないか。
	(平成28年度4月以降の利用状況については、了承)
五十嵐委員長	(4) 第2次三条市子供読書活動推進計画進捗状況について、生涯学習課より説明をいただきたい。
佐藤文化振興係長	(資料No. 7により説明)
五十嵐委員長	三条市子供読書活動推進計画が、3年延びたということで、よろしくお願ひしたい。
	(第2次三条市子供読書活動推進計画進捗状況について、了承)
五十嵐委員長	その他になるが、資料No. 6について事務局から説明いただきたい。
図書館長	それぞれのグラフの中でも、やはり資料No. 6-6登録者数の推移が、下がり気味である。先ほども説明したように、今年3月、4月以降マイナンバーカードでの登録者数が増えており、これについては、来年度は上昇する見込みである。 今後については、繰り返しになるが、子供や大人の方により楽しんでいただくためにも、いろいろな質を向上させる必要があり、もっと頑張っていかななくてはならないと考えている。
	(その他について、了承)
五十嵐委員長	それでは、最後に、何かあるか。
佐藤文化振興係長	(「第1回手づくりしかけ絵本コンクール」について説明)
五十嵐委員長	これをもって、平成28年度の第1回図書館協議会を閉会とする。